

VQScollabo 個別指導タイプ 講師操作マニュアル



VQScollabo 個別指導タイプは講師 1 名に対し、受講者が最大 20 名同時に参加できます。
また講師があてた受講者と個別指導ができます。

ソフトのインストール方法と、入室方法についてはサービスサイト(P.21)をご覧ください。

1 VQScollabo 個別指導タイプ操作画面について

- ① 指導モード切替
- ② 受講者映像
- ③ 講師映像
- ④ 機能ボタン
- ⑤ スピーカー・マイク操作
- ⑥ 参加者一覧
- ⑦ その他機能ボタン

2 ホワイトボード機能について

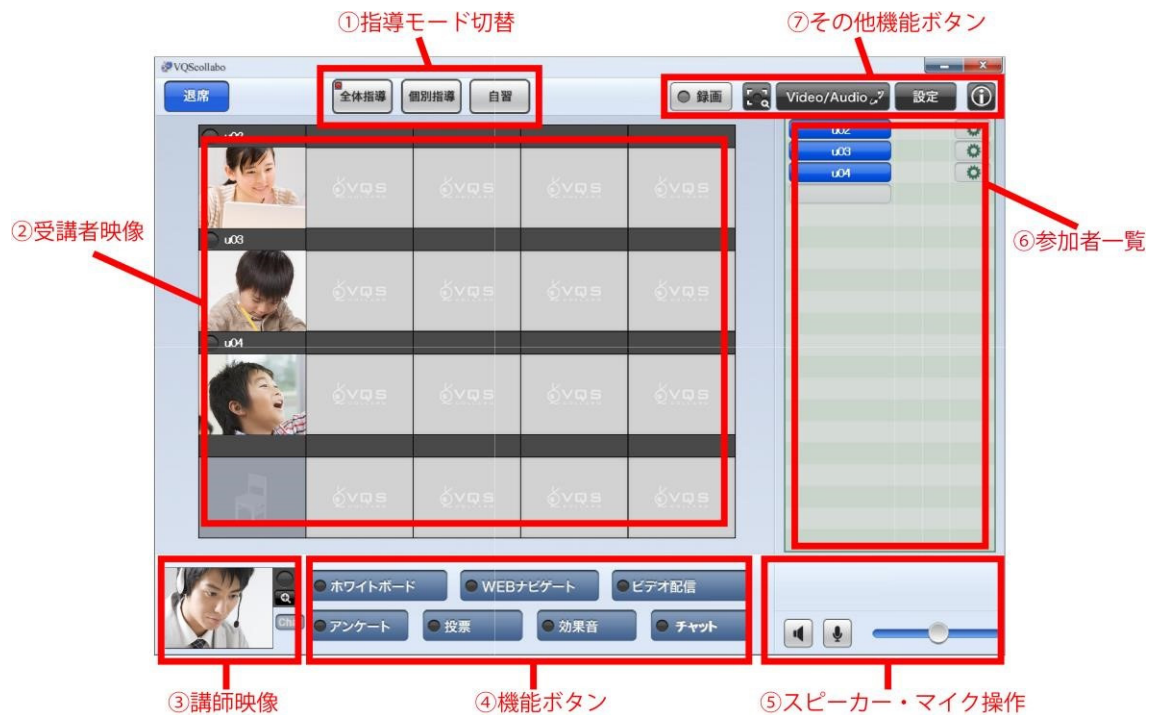
3 録画の設定や録画データの再生・変換について

4 ログの取得について

5 VQScollabo ご利用時の注意点

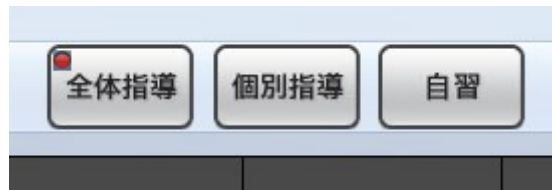
6 その他

1. VQScollabo 個別指導タイプ操作画面について



- ① 指導モード切替
指導モードの切り替えを行います。
- ② 受講者映像
受講者の映像を最大 20 名分表示します。
- ③ 講師映像
講師の映像を表示します。
- ④ 機能ボタン
ボタンをクリックして機能呼び出します。
- ⑤ スピーカー&マイク操作
スピーカー、マイクのミュート、スピーカーの音量調整を行います。
- ⑥ 参加者一覧参加者の一覧表示です。音量調整や設定の確認、「投票機能」使用時に受講者が選択した数字やアルファベットを表示するなどに利用します。
- ⑦ その他機能ボタン録画、映像の全画面表示、配信をオーディオのみに切り替える、設定内容呼び出すなどに使用します。

① 指導モード切替



各モードについて

●全体指導モード

講師の映像・音声はすべての受講者に配信されます。また受講者同士の音声もすべての受講者に配信されます。

●個別指導モード

講師の映像・音声はあてた受講者のみ配信されます。あてられていない受講者は講師の映像・音声は配信されません。また受講者同士の音声も配信されません。

●自習モード

講師の音声・映像はすべての受講者に配信されます。受講者同士の音声は配信されません。

※入室時、デフォルトは全体指導モードになっています。

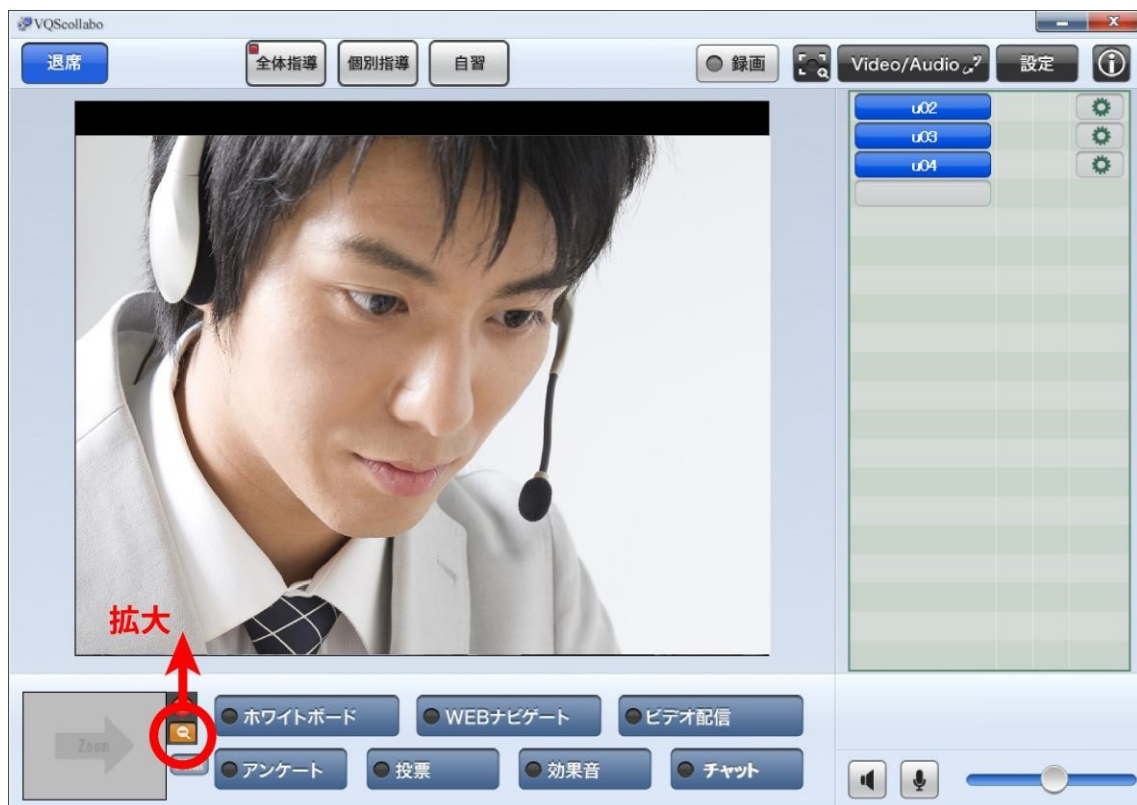
② 受講者映像

個別指導モードにして名前の上で「左クリック」すると受講者をあてることができます。
「右クリック」するとユーザー情報を開きます。



受講者の映像が表示されます。個別指導モードにしたときに、受講者映像の上にある受講者の名前をクリックするとあてることができます。また右クリックするとユーザー情報が開き、呼び出し音の発信や個別チャットの送信、ホワイトボードの権限移譲、受講者の音量調整、強制退席ができます。

③ 講師映像



講師の映像が表示されます。「+」ボタンをクリックすると受講者側で講師の映像が拡大して映ります。また個別チャットが届くと「chat」ボタンが赤色に点灯します。

④ 機能ボタン



●ホワイトボード

黒板やノートの代わりとなるホワイトボードを起動します。

ホワイトボードの詳細については P.10 をご覧ください。

●Web ナビゲート

Web ナビゲートは Web サイトを共有する機能です。共有したい Web サイトの URL を入力し、「→」ボタンをクリックして表示します。表示したページは「共有」ボタンをクリックすると、受講者に共有されます。

●ビデオ配信

講師のパソコンに保存されているビデオデータや音声データを配信できます。配信したいファイルを選択して「再生」ボタンをクリックしてください。動画データの映像は講師の映像の代わりに配信されます。

※配信可能なファイル種別：ビデオ **wmv,avi** 音声 **wav,wma,mp3**

●アンケート

授業中にアンケートを実施できます。オプションでご契約いただいたのみご利用できます。アンケートの詳細は別途アンケートマニュアルをご覧ください。

●投票

英数字の「選択」ボタンを受講者側に表示して、投票を行えます。投票結果は参加者一覧に表示されます。(P.8)講師側では「選択」ボタンの数を増やしたり、英数字の切替を行います。

●効果音

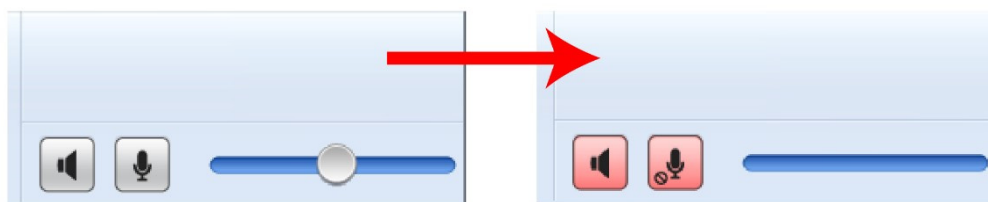
講師側から 8 種類の効果音を流すことができます。

●チャット

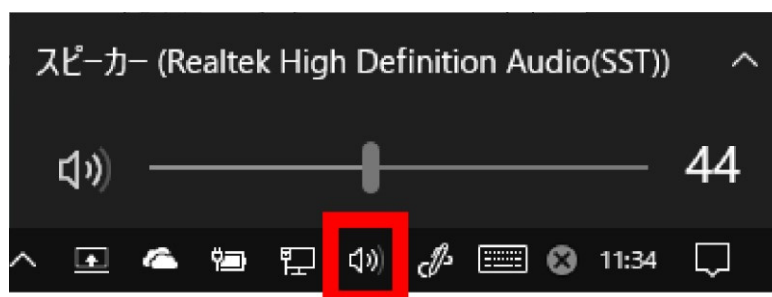
チャットウィンドウが起動しチャットを行えます。講師、受講者すべてがチャット入力できます。特定の参加者に個別チャットを行う場合は、P.4 の個別のユーザー情報から個別チャットを行ってください。

⑤ スピーカー&マイク操作

スピーカー・マイク オン状態 スピーカー・マイク ミュート状態



スピーカーとマイクのミュート（消音）を行います。それぞれのアイコンをクリックすると表示が赤色に変わり、ミュートします。右側のバーでスピーカーの音量を調整します。マイクの音量を調整する場合は画面右上の「設定」ボタンをクリックします。詳しくは次項をご覧ください。

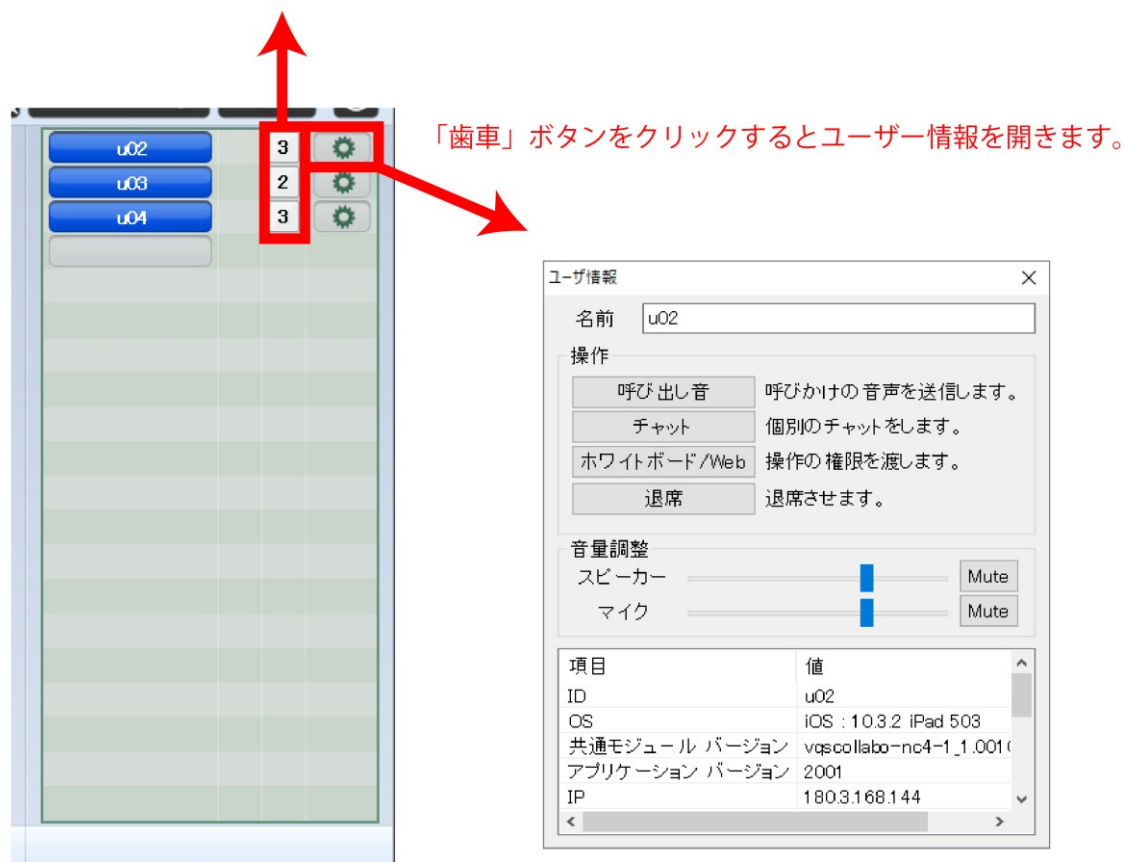


パソコンのスピーカーやマイクがミュートになっている場合、VQScollabo の音量設定を適切に行っていたとしても音になりません。必ずパソコンの設定をご確認ください。パソコン画面のタスクバーをご確認いただき、スピーカーの音量が適切かどうかご確認ください。

（通常 Windows では画面右下にタスクバーがございます）

⑥ 参加者一覧

「投票」を行った時、受講者が選択した番号やアルファベットが表示されます。



受講者が一覧で表示されます。歯車マークをクリックするとユーザー情報が表示されます。また「投票」を行った時、受講者が選択した数字やアルファベットが表示されます。

投票結果を確認する際は参加者一覧をご確認ください。

⑦ その他機能ボタン



●録画ボタン

クリックすると VQScollabo 画面、音声の録画を行います。入室するコマによって録画できるかできないかの権限が与えられています。録画ができない予約コマだと「録画」ボタンは表示されません。

※録画の設定については P.17 をご覧ください。

●フルスクリーン設定

クリックし緑に点灯すると、講師映像を拡大したときに受講者側で講師映像が最大化（フルスクリーン）されて表示されます。講師の映像を最大化して受講者に配信したい場合は、「フルスクリーン設定」ボタンをクリックして緑に点灯させてから、講師画像の「拡大」ボタンをクリックしてください。

●VIDEO/AUDIO ボタン（映像データカット）

クリックすると映像の配信を停止し、音声のみの配信となります。映像を一時的に配信停止したい場合や、インターネットの帯域が圧迫され映像の遅延が発生したなどに一時的に音声のみ配信できます。インターネットの通信が不安定な場合に有効です。

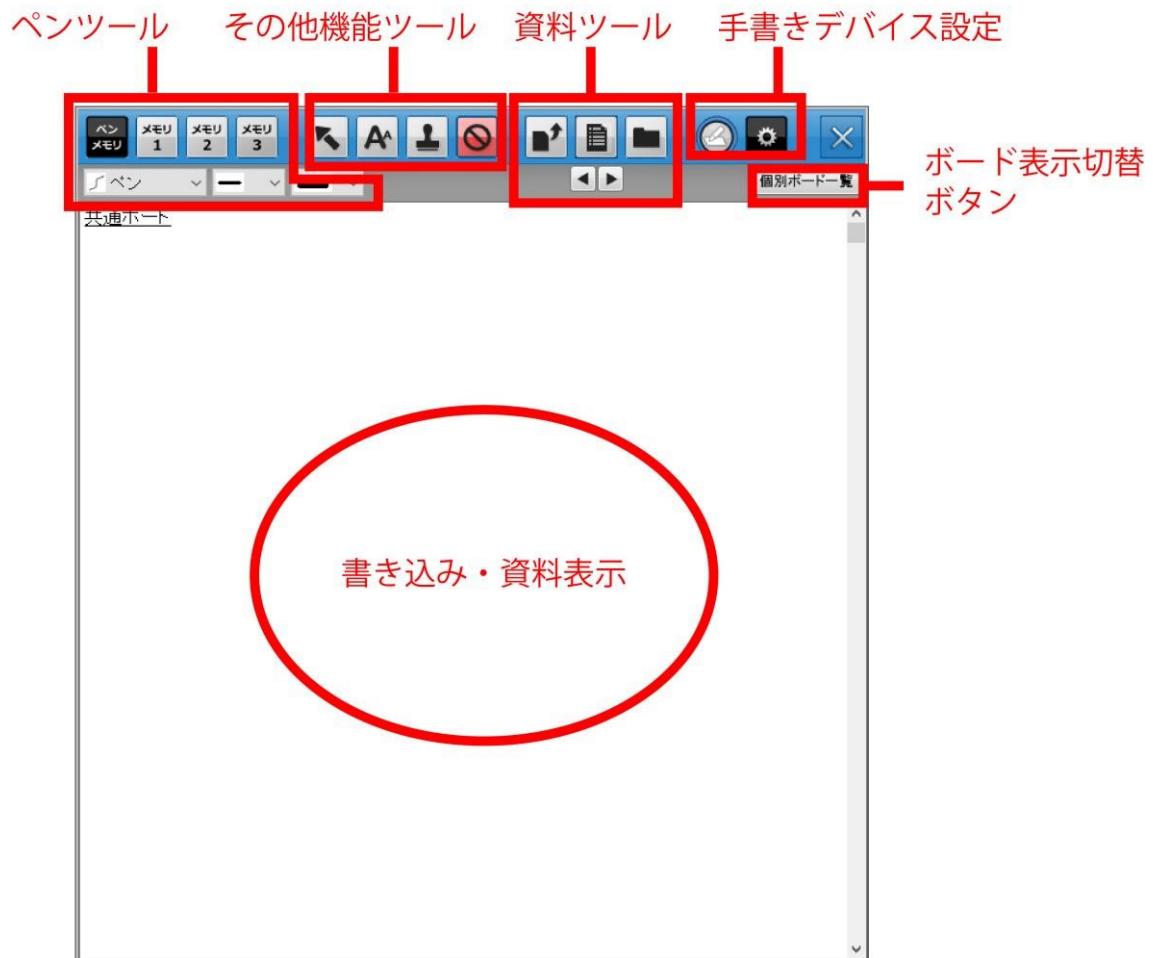
●設定確認

クリックすると各種設定を確認できます。音量の調整やカメラの切替、帯域の変更など行えます。

●動作状況確認

クリックするとパソコンの負荷状況、映像・音声の受信、配信の送受信状況を確認できます。

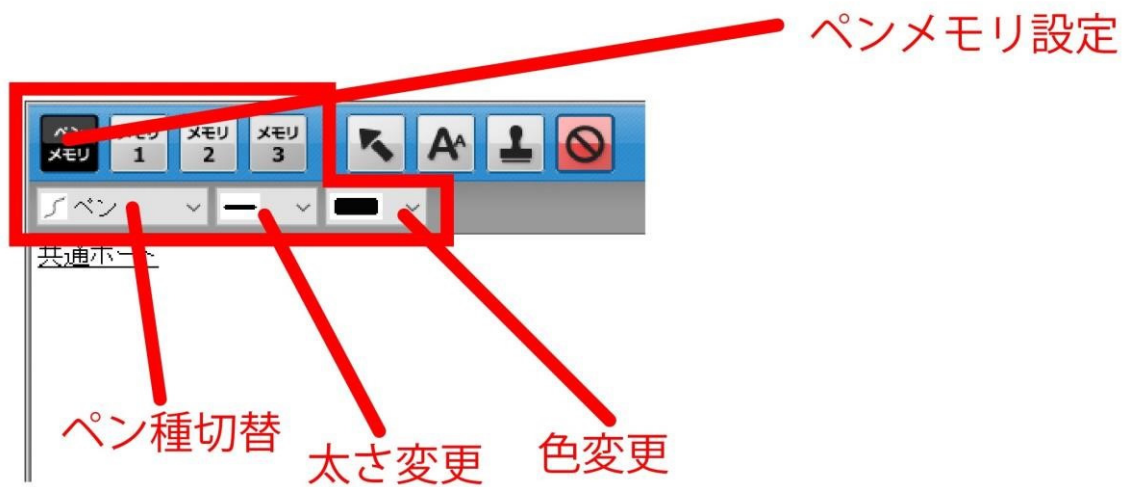
2. ホワイトボード機能について



ホワイトボードは教室の黒板や手元のノートのように書き込みや資料を共有する機能です。ボタンをクリックするとホワイトボードが表示します。講師側でホワイトボードを表示すると受講者側でも自動的にホワイトボードが表示されます。

ホワイトボードは「指導モード」によって異なる形式となります。全体指導モードの時は、全員が書き込みできる「共通ボード」、個別指導・自習モードの時はそれぞれの受講者と講師が書き込みできる「個別ボード」になります。

●ペンツール



マウスや手書き入力デバイスを使って、ホワイトボードに書き込みできます。またペン以外にも図形や消しゴムを使用することができます。線の太さや色の変更もペンツールから変更します。また「ペンメモリ」ボタンを押すと、メモリ 1,2,3 にそれぞれペン種の記憶ができます。

●その他のツール

指示棒 テキスト入力 スタンプ 書き込み禁止



指示棒

ボタンをクリックすると指示棒が表示されます。その指示棒をドラッグしながらホワイトボード上を動かすと、同時に全参加者（受講者）のホワイトボードでも指示棒が動きます。

「ここを見て」と注目させるときに利用します。

赤色の指示棒が自身のもので、青色の指示棒が他の参加者の指示棒です。



テキスト

ボタンをクリックするとテキストボックスが表示されます。キーボードで文字を入力し「決定」ボタンをクリックすると文字を張り付けることができます。テキストボックスはウインドウをドラッグしながら動かすことができ、任意の位置に張り付けできます。



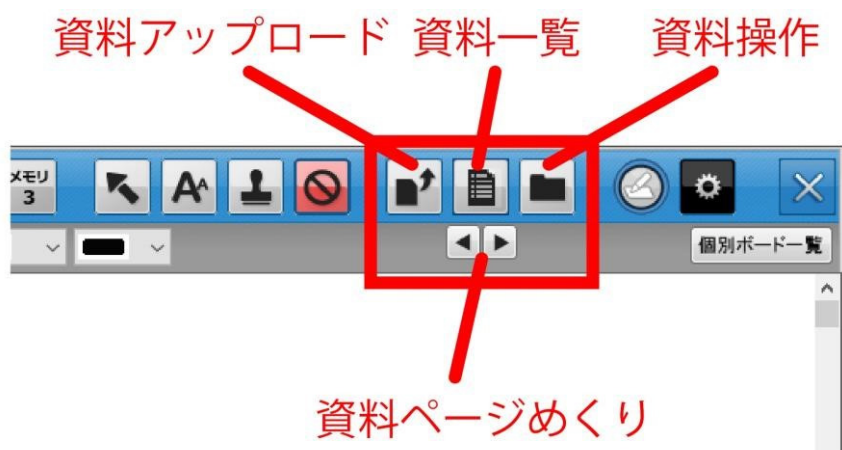
スタンプ

あらかじめ作成しパソコンのローカルハードディスクに保存していたテキストやビットマップを選択してホワイトボードに張り付けできます。テキストファイル、ビットマップファイルを「C:\Users\ユーザー名\Documents\VQSCollabo Material Maker\Text_Hints」の中に保存した状態で「スタンプ」ボタンをクリックすると、呼び出し可能なテキストやビットマップファイルが表示されます。選択して張り付けできます。ウインドウをドラッグしながら動かすことができ、任意の位置に張り付けできます。

書き込み禁止

受講者側の書き込みを制御できます。ボタンが「赤色」の場合、受講者側で書き込みできません。システム上、ホワイトボード初回起動時はかならず書き込み禁止になっています。ボタンをクリックすると「グレー」になり禁止状態を解除できます。

●資料ツール



PDF やワード、パワーポイントなど教材や資料などをホワイトボードに張り付けて、受講者に提示することができます。

資料アップロード

パソコンの中に保存されている資料をアップロードします。画面の指示に従い、提示する資料を選択し、アップロードしてください。

※VQScollaboの資料アップロード対応ファイルは Jpg、bmp、PDF、ワード形式、エクセル形式、パワーポイント形式です。ただしアップロード時にサーバー側ですべて「画像ファイル (jpg)」に変換を行い表示致します。よってパワーポイントなどのアニメーション機能を使ったファイルは表示できません。また保存形式やバージョンによってサーバーでの変換がうまくいかず文字がずれたりする可能性があります。あらかじめご了承ください。

資料一覧

アップロードした資料をサムネイルで表示します。選択して OK をクリックすると表示できます。

資料操作

資料の保存や印刷、また講師側ではペンツールで書き込みした内容を削除するなどの操作ができます。

- ◆開く： 一時的に資料を表示する機能です。一時資料はページをめくると消去されます。
- ◆白紙ページを追加する： ホワイトボードに白紙ページを追加します。
- ◆書き込みのみを消去する： 資料は保持したまま、書き込みのみ消去します。
- ◆保存： 表示している資料＋書き込みを画像として保存します。
- ◆印刷： 表示している資料＋書き込みを印刷出力します。
- ◆資料アップロード： 入室後に、ポータルサイトにアップロードされた

資料を全員にダウンロードします

資料ページめくり

複数ページある資料をアップロードしたとき、「めくり」ボタンをクリックするとページをめくることができます。

●手書き入力デバイス設定ツール

手書き入力デバイス状態表示

手書き入力デバイス設定



手書き入力デバイス状態表示

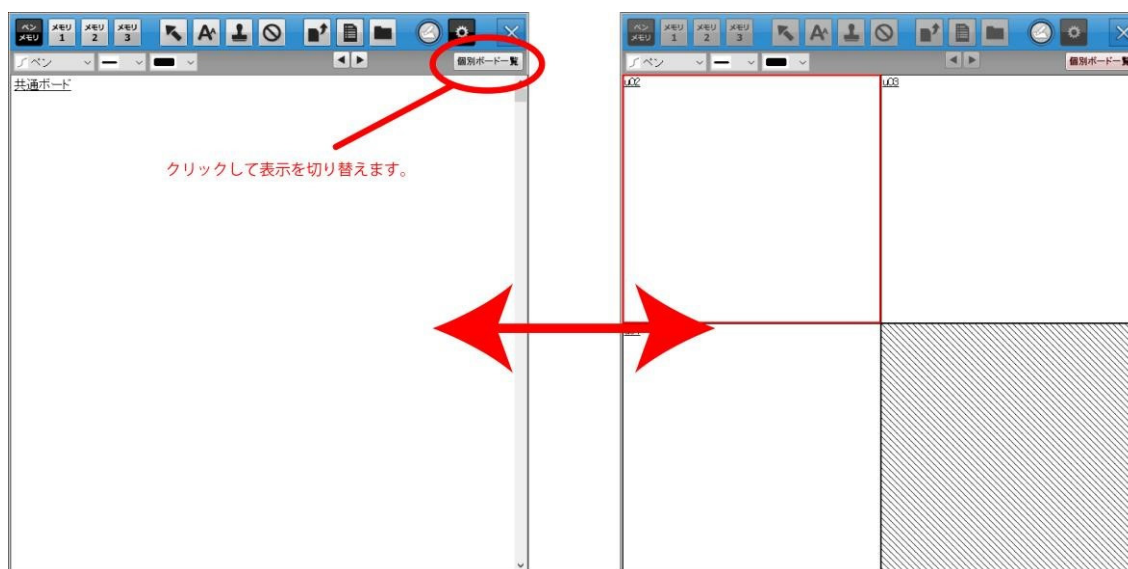
手書き入力デバイスの接続状態を表示します。緑に点灯していると手書き接続デバイスが使用可能な状態です。また手書きデバイスの認識がされていない場合（点灯せずグレー表示）、クリックすると再認識する場合があります。

手書き入力デバイス設定

使用する手書きデバイスの選択や書き込み位置の調整を行います。位置調整はガイダンスに従って設定を行ってください。

●ボード切り替えボタン

個別指導タイプでは、講師側のみ「ボードの切替」ボタンがあります。ボタンをクリックすると、共通ボードと個別ボードを切替します。個別ボードにすると受講者の書き込み内容を一覧で確認できます。



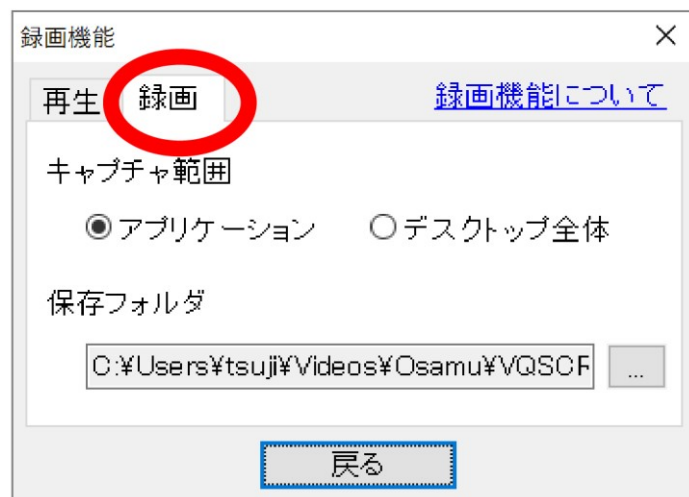
3. 録画の設定や録画データの再生・変換について

VQScollabo は画面と音声を録画することができます。ただし授業コマを予約するときに、管理者もしくは予約者が録画の権限をオンにしていないと録画できません。録画権限については、授業コマ予約方法のマニュアルをご参照ください。

録画の設定



録画の設定は、VQScollabo アプリケーションランチャから行います。「ツール」をクリックし、「録画機能」をクリックしてください。



録画タブをクリックすると録画設定が表示されます。キャプチャ範囲で録画する画面を設定します。

「アプリケーション」の場合は、VQScollabo の画面のみを録画します。

※ホワイトボードなど別ウィンドウで開くものは VQScollabo の背景から外れると録画できませんのでご注意ください。あくまでメイン画面の範囲内を録画します。

「デスクトップ全体」の場合は、パソコンの画面をそのまま録画します。ホワイトボード

など別ウィンドウで開くものを VQScollabo の背景から外しても録画できます。

保存フォルダは動画ファイルを保存するフォルダを設定します。

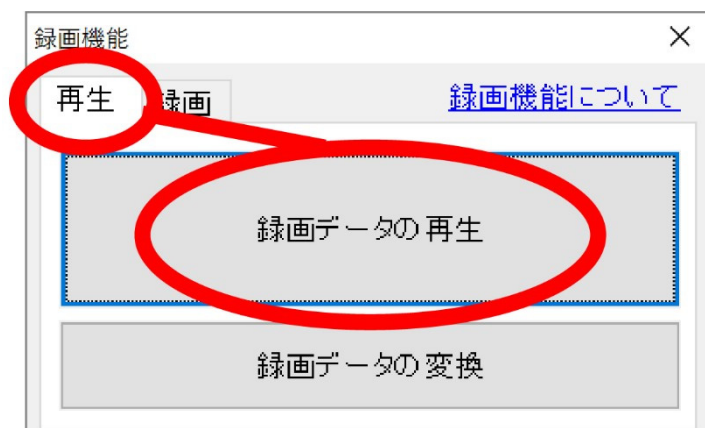
※録画時の注意

VQScollabo の録画では VQScollabo の画面を最小化すると正常な録画ができません。

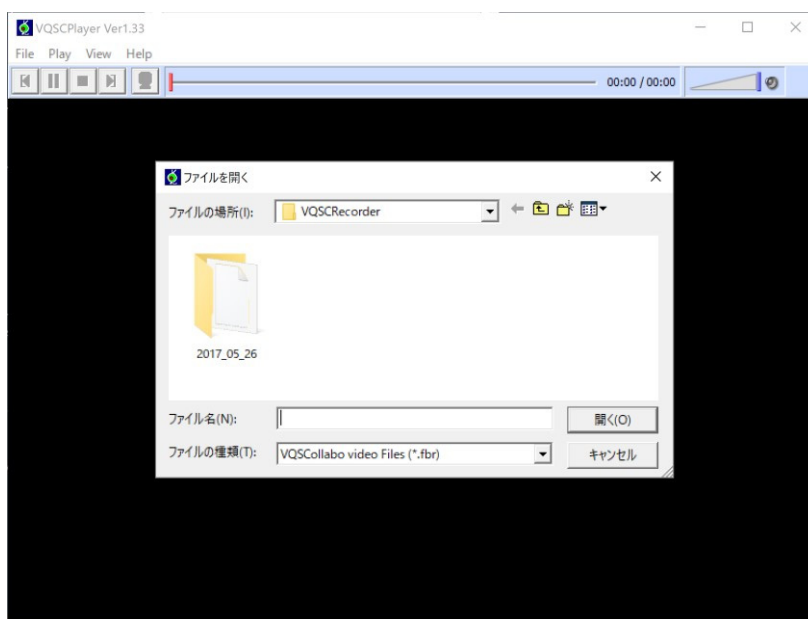
デュアルディスプレイで録画を行うと正常な録画ができない場合がございます。

録画時は PC の負荷が非常に高くなります。インテル Core i5 以上の CPU を搭載したパソコンで行ってください。スペックの低い PC で録画を行うと録画できなかったり VQScollabo が強制終了する場合があります。

録画データの再生

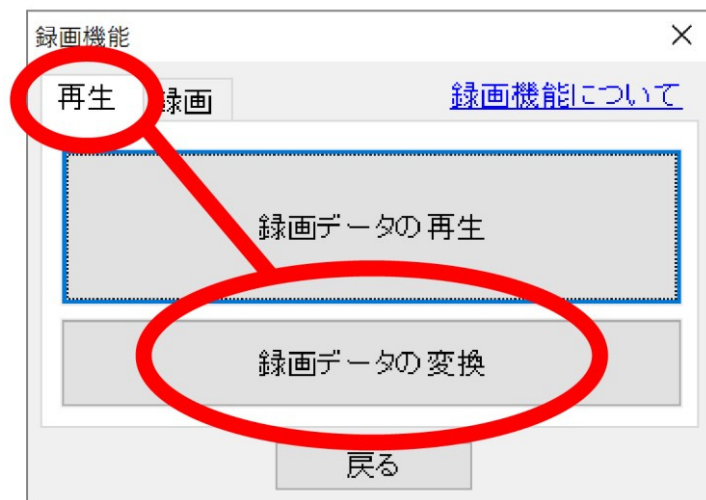


録画データの再生も VQSCollabo アプリケーションランチャから行います。再生タブをクリックして「録画データの再生」をクリックして下さい。

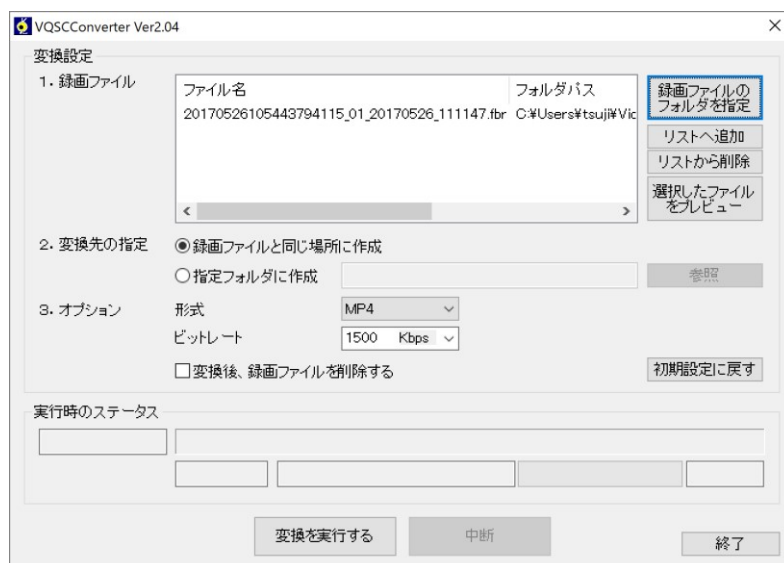


再生プレイヤーが起動し、録画データが保存されるフォルダを開くので、再生したい録画データを選択し、「開く」をクリックしてください。

録画データの変換



VQScollabo で録画したデータは独自形式のファイルで保存されています。汎用的なファイルにするためには、データの変換が必要です。変換ツールは、アプリケーションランチャから起動します、アプリケーションランチャ→ツール→録画機能→録画データの変換の順に選択してください。



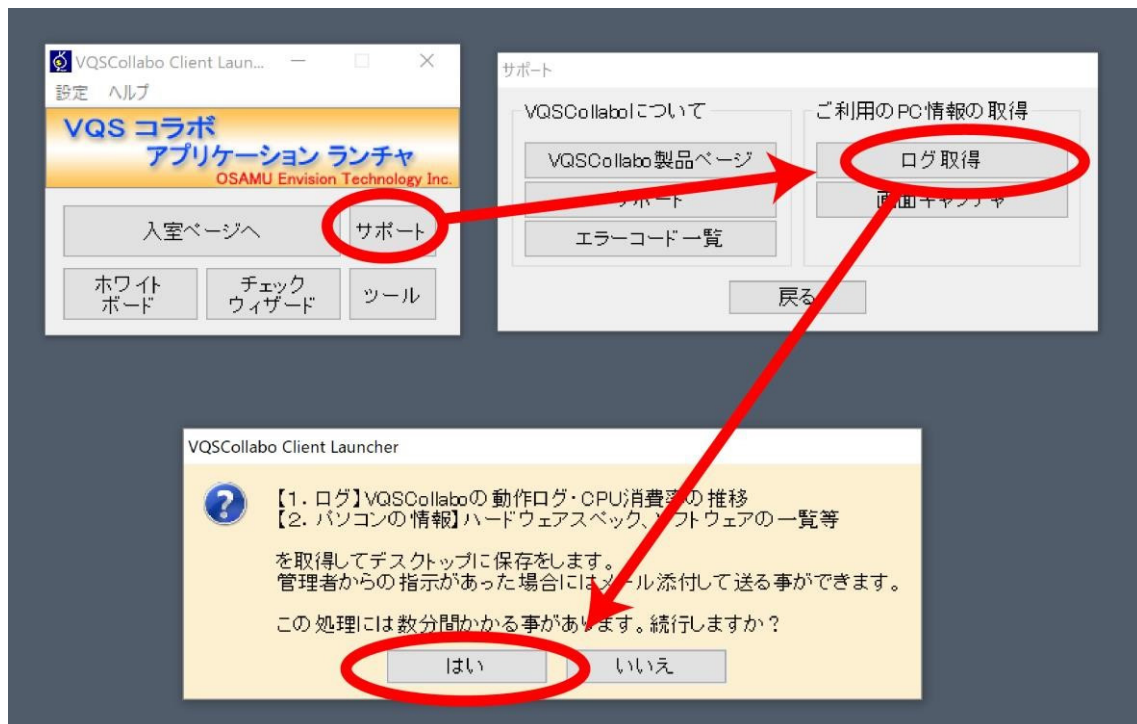
「録画ファイルのフォルダを指定」をクリックして、録画ファイルが保存されているフォルダをクリックし、フォルダを指定します。その後フォルダ内に保存されているファイルが一覧に表示されますので、変換を行うファイルを決め、「変換を実行する」をクリックします。変換形式は、MP4 と WMV に対応しています。ビットレートはデフォルトでは 1500Kbps に設定されています。お好みの設定で変換を行ってください。

※変換処理は時間がかかりますのであらかじめご了承ください。

4. ログの取得について

VQSCollabo は動作中に通信ログやパソコンの負荷状況のログを記録しています。ログは 1 か月間分保存されます。(1 か月たつと自動的に削除されます)

通信中に切断が発生したり、音声や映像に途切れが発生する場合は、ログの解析を行うことで、原因の追究ができる可能性がございます。



アプリケーションランチャから「サポート」→「ログ取得」→「はい」をクリックします。しばらくすると、デスクトップにログファイルが作成されます。(ファイル名：VQSClog.zip)

サポート窓口へお問合せの際にログも一緒にお送りください。

※ログは講師と受講者ともにいただけるとより状況が判明しやすくなります。

5. VQScollabo ご利用時の注意点

①PC のスペック、インターネット回線の品質によって授業がつながりにくかったり、切断、遅延、画像の乱れなどが発生する場合があります。

事前に VQScollabo で授業を行うために必要な PC のスペック、回線かを診断するツールをご用意しております。

<https://info.vqsc.net/AreYouReady/>

②PC を無線 LAN でご利用されているお客様は「**電子レンジ**」の使用にご注意ください。電子レンジを利用している際に電磁波が発生し、無線 LAN が影響をうけ、切断や遅延などが発生し不安定になることがあります。

④PC は起動直後様々な処理を行っています。授業を安定して行うために授業が始まる **30 分前に PC を起動**していただくのがおすすめです。

⑤授業を行う際は**不要なソフトやアプリは終了**してください。バックグラウンドで動作を行うアプリが負荷をかけ授業に影響する場合があります。WindowsOS の自動アップデートやセキュリティソフトの自動アップデートをオンにしている場合、授業中にバックグラウンドでそれらのソフトの処理が行われ、PC の負荷が上がる場合があります。

6. その他

その他トラブルの際には下記 URL をご参考ください。

VQScollabo サービスサイト

<https://vqscollabo.jp/>